

知多市観光ビジョン(案)【概要版】

策定の目的

観光を取り巻く環境が変化する中であっても、観光を産業振興の手段として地域経済の活性化につなげ、住民、来訪者、地元事業者の満足度を上げることで、持続可能な観光まちづくりを目指します。

計画期間

令和6年度から令和12年度まで（7年間）

中長期的な基本理念とともに、基本理念を実現するための基本方針を示します。なお、具体的な事業はアクションプランとして取りまとめ、毎年度見直しを行います。

知多市の観光SWOT分析

強み	佐布里池梅林 岡田の古い街並 新舞子の夕日 ちたの竹林 サントリーウイスキー「知多」 知多四国霊場開山の地「妙楽寺」 中部国際空港、名古屋市からのアクセスの良さ
機会	観光立国 日本の世界的人気 持続可能な観光への関心の高まり ワーケーションの定着 朝倉駅周辺整備事業 西知多道路整備 大草城址の史跡指定

弱み	二次交通が脆弱 イベントと地域経済とのつながりが弱い キラコンテンツが不足 ベッドタウンの性格が強い
脅威	人口減少、超高齢社会による国内マーケットの縮小 地域間競争の激化 地域の観光の担い手の高齢化

基本理念

住んでよし

知多市版

“三方よし”の観光まちづくり

商ってよし

訪れてよし

基本方針 5つの柱

- 柱 1** 「知多らしさ」の活用による消費額拡大
- 柱 2** にぎわい創出のための観光客受入れ環境整備
- 柱 3** 観光DXへの対応と戦略的プロモーション
- 柱 4** 異業種交流による観光イノベーション
- 柱 5** 広域連携によるコバンザメ商法

指標

市内に買い物や外食で利用したい店があると思う市民の割合／観光として魅力ある場所やイベントがあると思う市民の割合／創業件数／WEBサイト閲覧数／SNSフォロワー数

観光ビジョンの推進体制・進行管理

このロケットは、市内で展開される様々なプロジェクトです。軌道に乗るまでは、観光協会、商工会及び市が燃料となって事業のスタートを支援し、ロケットが軌道に乗った後は、プロジェクトの主役である住民、来訪者、事業者の連携によって自走します。

